

授業科目名	【G】 【EF】	教職基礎演習Ⅲ 教職基礎演習Ⅲ	区分	開講年次	【G】1 【EF】1	単位数	【G】2 【EF】2
科目区分	【G】大学が独自に設定する科目／【EF】教科または教職に関する科目						
授業形態	対面授業						
担当形態	オムニバス	【G】 【EF】	教員の免許状取得のための選択必修科目 教員の免許状取得のための選択科目				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【G】大学が独自に設定する科目／【EF】教科または教職に関する科目						
サブタイトル	教科専門に関する基礎学力及び実践力の向上(Ⅰ)			担当者	小松 伸之、小関 勇次		
授業概要	【概要】	<p>【実務(中学・高等学校教諭)経験を活かした授業】 中学校及び高等学校における教育経験をもとに、学校現場で求められる基礎的な実践的指導力の育成を図る。</p> <p>【概要】 教師は「担当教科のプロ」となることが求められるが、中学校や高等学校での学習内容は大学の講義では部分的に活用されるのみで、多くは忘れていってしまうのが現実である。そこで本演習では、中学校の社会科教科書を教材に、学習内容を確認することで基礎学力を拡充させるとともに、小グループで重要ポイントを教えあう活動により実践力を高めていくことを目的としている。そして、本学独自の取り組みである「清和大学社会科検定」(年間8回実施)と連動させて、理解の程度を確認していく。</p>					
	【到達目標】	<p>○中学校社会科の学習内容についての理解を深めることができる。 ○清和大学社会科検定による問題演習を通じて、基礎学力の向上に努めることができる。 ○重要ポイントをおさえて学習内容を他者に伝えることができる。</p>					
履修条件	中学校社会科、高等学校地理歴史科・公民科の教員免許取得を希望する者(全学年対象)						
ディプロマ・ポリシーとの関連性	DP (ディプロマ・ポリシー) ①	- (当てはまらない)					
	DP (ディプロマ・ポリシー) ②	- (当てはまらない)					
	DP (ディプロマ・ポリシー) ③	◎ (よく当てはまる)					
他科目との関連性	社会科・公民科指導法Ⅰ～Ⅳ、地理歴史科指導法Ⅰ・Ⅱ						
教科書	中学校社会科教科書(地理的分野・歴史的分野・公民的分野)						
参考書	適宜、プリントを配布する。						
評価方法	問題演習(80%)、課題(20%) ※出席は評価の前提条件となる。また、受講者には授業への積極的な参加を求める。						
フィードバック方法(※)	授業内のコメント、課題へのコメント						
評価基準	学習内容についてよく理解して問題演習に取り組んだ者には「S」または「A」を与える。学習内容についての理解や問題演習に不十分な点がある者はその程度に応じて「B」または「C」とし、取り組む姿勢が不十分な者はその程度に応じて「D」または「E」とする。						
その他	<p>・本科目は「通年科目」となり、講義と演習をセットとして「16週」実施する。 ・清和大学社会科検定の問題は「教職基礎演習Ⅰ」と異なる。</p>						

授業科目名	【G】	教職基礎演習Ⅲ	区分	開講年次	【G】1	単位数	【G】2
	【EF】	教職基礎演習Ⅲ			【EF】1		【EF】2
授業内容	<p><Ⅰ. 講義編(奇数回:第1・3・5・7・9・11・13・15回)> 中学校社会科地理的分野・歴史的分野・公民的分野の教科書を活用して、学習内容を確認したうえで、教授のポイントの整理を通して理解を深める。取り上げる範囲については授業内で指示する。</p> <p><Ⅱ. 演習編(偶数回:第2・4・6・8・10・12・14・16回)> 「清和大学社会科検定」を実施し、地理的分野・歴史的分野・公民的分野それぞれについて内容理解の程度を確認する。また、前回に実施した「清和大学社会科検定」の答案を返却し、ポイントの解説を行う。</p>						
予習内容	<p>【講義(奇数回)】教科書の該当範囲の読解 【演習(偶数回)】教科書の該当範囲の整理による社会科検定の準備 ※授業ごとの予習時間は90分程度を目安とする。</p>						
復習内容	<p>【講義(奇数回)】授業内容の復習 【演習(偶数回)】理解が不十分な点についての復習 ※授業ごとの復習時間は90分程度を目安とする。</p>						